

この様式は、市町村から受け取った環境保全型農業直接支払交付金に係る実施状況確認結果通知書（様式第7号）の「対象活動を実施済みであり、かつ実施状況報告書（様式第6号）通りであることを確認したことから、営農活動実績報告書（様式第10号又は共通様式第6号）の提出を省略することができる」にチェックが入っていた場合、提出は不要です。

(様式第10号)記載例

〇〇市町村長 殿

提出先の市町村長名を記載してください。

令和〇年〇月〇日

提出年月日を記載してください。
営農活動実績報告書は令和6年4月末日までに
対象活動を実施した農地が所在する市町村に提出してください。

組織名 環境営農組合
代表者名 農林 太郎

令和5年度 環境保全型農業直接支払交付金に係る営農活動実績報告書

環境保全型農業直接支払交付金実施要領(平成23年4月1日付け22生産第10954号生産局長通知)の第13の1に基づき、**令和5年度**の環境保全型農業直接支払交付金の活動実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 環境保全型農業直接支払交付金の営農活動実績

令和5年度の環境保全型農業直接支払交付金の営農活動実績について報告します。

実施状況報告書を見込みで報告かつ変更が無い場合にチェックしてください。
※チェックは■又は□にしてください。
この場合、対象活動及び推進活動の実施内容は、実施状況報告書で報告してありますので、
生産記録や市町村から求められる書類を添付してください。（別紙及び添付様式10は添付不要）

- 実施状況報告書を見込みで報告しましたが、内容に変更がないため別紙を省略し生産記録等のみを提出します。
- 実施状況報告書から変更があったので別紙のとおり報告します。

実施状況報告書から内容の変更がある場合にチェックしてください。
※チェックは■又は□にしてください。
この場合、別紙及び添付様式10を添付して提出してください。
なお、実施状況報告書から変更があった箇所のみ報告することも可能です。

(注1)該当する項目の□に■を入れる。

(注2)実施状況報告書から変更があった場合は変更があった箇所のみを報告することも可。

3. 自然環境の保全に資する農業の生産方式を導入した農業生産活動の実施を推進するための活動の内容

| 活動内容 | 実施時期 |
|---|--------|
| ○自然環境の保全に資する農業の生産方式を導入した農業生産活動の技術向上に関する活動 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> ① 技術マニュアルや普及啓発資料などの作成・配布 | 4月、12月 |
| <input type="checkbox"/> ② 実証圃の設置等 | |
| <input type="checkbox"/> ③ 先駆的農業者等 | |
| <input type="checkbox"/> ④ 自然環境の保全 | |
| <input type="checkbox"/> ⑤ ICTやロボット技 | |
| 実施した推進活動についてチェックしてください（1つ以上実施する必要があります）。 また、実施した時期を記載してください。 ※チェックは■又は□にしてください。 | |
| ○自然環境の保全に資する農業の生産方式を導入した農業生産活動の理解増進や普及に関する活動 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> ⑥ 地域住民との交流会(田植えや収穫等の農作業体験等)の開催 | 10月 |
| <input type="checkbox"/> ⑦ 土壌診断や生き物調査等環境保全効果の測定 | |
| ○その他自然環境の保全に資する農業生産活動の実施を推進する活動 | |
| <input type="checkbox"/> ⑧ 耕作放棄地を復旧し、当該農地において自然環境の保全に資する農業生産活動の実施 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> ⑨ 中山間地及び指定棚田地域における自然環境の保全に資する農業生産活動の実施 (農業者団体等の取組面積の過半が中山間地又は指定棚田地域の場合に限る。) | |
| <input type="checkbox"/> ⑩ 農業生産活動に伴う環境負荷低減の取組や地域資源の循環利用 | |
| <input type="checkbox"/> ⑪ 環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律第21条第1項に規定する特定環境負荷低減事業活動実施計画の認定を受けている場合又は当該年度までに認定を受ける見込みがある場合 | |
| <input type="checkbox"/> ⑫ その他() | |
| (注)該当する活動内容の□に■を入れる | |
| [⑨中山間地～]に取り組んだ場合には、チェックしてください。 (実施した時期については、記載不要です) ※チェックは■又は□にしてください。 | |

4. 添付書類

- ・生産記録(実施状況で見込みで報告した場合)
- ・その他都道府県又は市町村が求める書類

生産記録、その他都道府県や市町村が求める書類を添付してください。

※ 生産記録については特に様式を定めていません。

生産過程等において使用した肥料及び農薬、導入した等、要件に即して対象活動を実施したことが確認できれば、「有機JASの認証書の写し又は認証期間に提出した書類」や「都道府県等の特別栽培農産物等の認定書の写し又は認定機関に提出した書類」を提出することで生産記録に代えることができますが、記載内容によっては追加で書類の提出を求める場合がありますので、都道府県や市町村の指示に従ってください。

自然環境の保全に資する生産方式を導入した農業生産活動の実施面積

| 組織名 | 環境営農組合 |
|--|--------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・構成員別に記載してください。 ・対象取組については、様式第10号の別紙の2を参考に記載してください。 | |

1. 構成員別実施面積

| 氏名 | 対象取組 (内容) | 化学肥料及び化学合成農薬を5割以上低減する活動(作物名) | 実施面積 (a) | 備考 |
|--------|-----------------------------|------------------------------|-------------|----|
| 農林 一郎 | 堆肥の施用 | たまねぎ | 100 | |
| 農林 一郎 | カバーコロップ | 水稻 | 100 | |
| 農林 一郎 | リビングマルチ | カボチャ | 100 | |
| 農林 一郎 | 有機農業 | 水稻 | 100 | |
| 農林 二郎 | 草生栽培 | りんご | 100 | |
| 農林 二郎 | 不耕起播種 | 大豆 | 100 | |
| 農林 三郎 | 長期中干し | 水稻 | 100 | |
| 農林 三郎 | 秋耕 | 水稻 | 100 | |
| 農林 三郎 | 有機農業 | 水稻 | 100 | |
| 株式会社環境 | 有機農業 | ほうれん草 | 100 | |
| 株式会社環境 | 有機農業 (炭素貯留効果の高い有機農業) | 水稻 | 100 | |
| 株式会社環境 | 冬期湛水管理 (有機質肥料未施用、畦補強等実施) | 水稻 | 100 | |
| 株式会社環境 | I P Mの取組 | 水稻 | 100 | |
| 合計(a) | | | 1,300 | |

作物名は、「水稻、飼料作物、麦・豆類、いも・野菜類、果樹・茶、花き・その他」程度の分類で記載することも可能です。

2. 構成員別実施面積(うち取組拡大加算)

| 氏名 | 実施面積 (a) | | 指導を受けた内容 |
|-------|-------------|------------|--|
| | 指導を受けた者 | 主に指導を実施した者 | |
| 農林 三郎 | | 農林 一郎 | ①病害虫防除の現地指導 ②有機質資材選定の指導 ③除草の時期・方法に係る現地指導 |
| 合計(a) | | 100 | |

主に指導を受けた内容について、簡潔に全て記載してください。

(注1)生産者別、対象取組別に記載すること。

(注2)必要に応じて行を追加すること。